

林野庁様 「森林シンポジウム～J-クレジット・民間資金による森林整備と脱炭素貢献～」

森林クレジットの活用事例：長瀬産業株式会社

2024年2月28日（水）

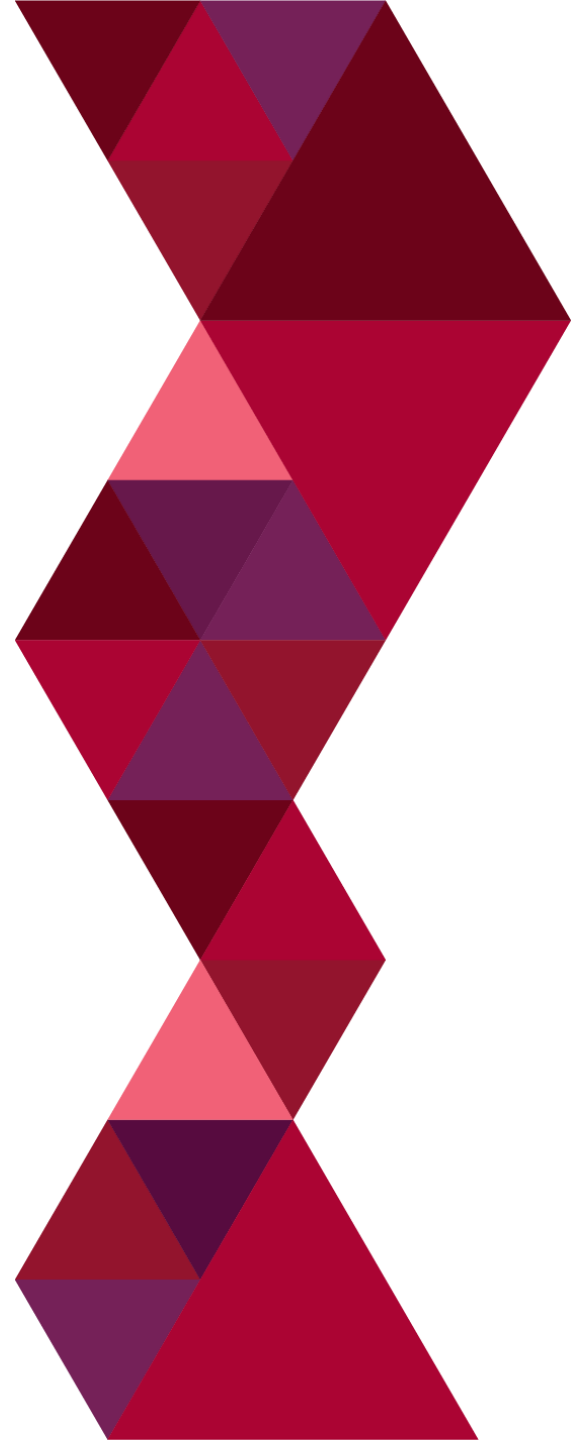
長瀬産業（株）経営企画本部 サステナビリティ推進室

成田 昇

 NAGASE | Delivering next.

Agenda

1. 自己紹介・会社紹介
2. 森林クレジット活用の概要
3. 工夫した点や苦勞した点
4. 他の自治体・企業様に向けた教訓等



会社概要

商号	長瀬産業株式会社 Nagase & Co., Ltd.
創業	1832年（天保3年）6月18日
連結売上高	9,128億円 ※純利益：236億円
従業員数	892名 ※連結：7,113名
取引社数	18,000社
地域別グループ社数	日本 33社、米州25社、欧州11社 GC 25社、ASEAM&中東 17社、その他3社
主な事業内容	化学品、合成樹脂、電子材料、食品素材、 医療材料等の輸出・輸入および国内販売
主な事業所 （国内）	大阪本社、東京本社、名古屋支店 ナガセバイオイノベーションセンター ナガセアプリケーションワークショップ

2023年3月末現在



東京本社

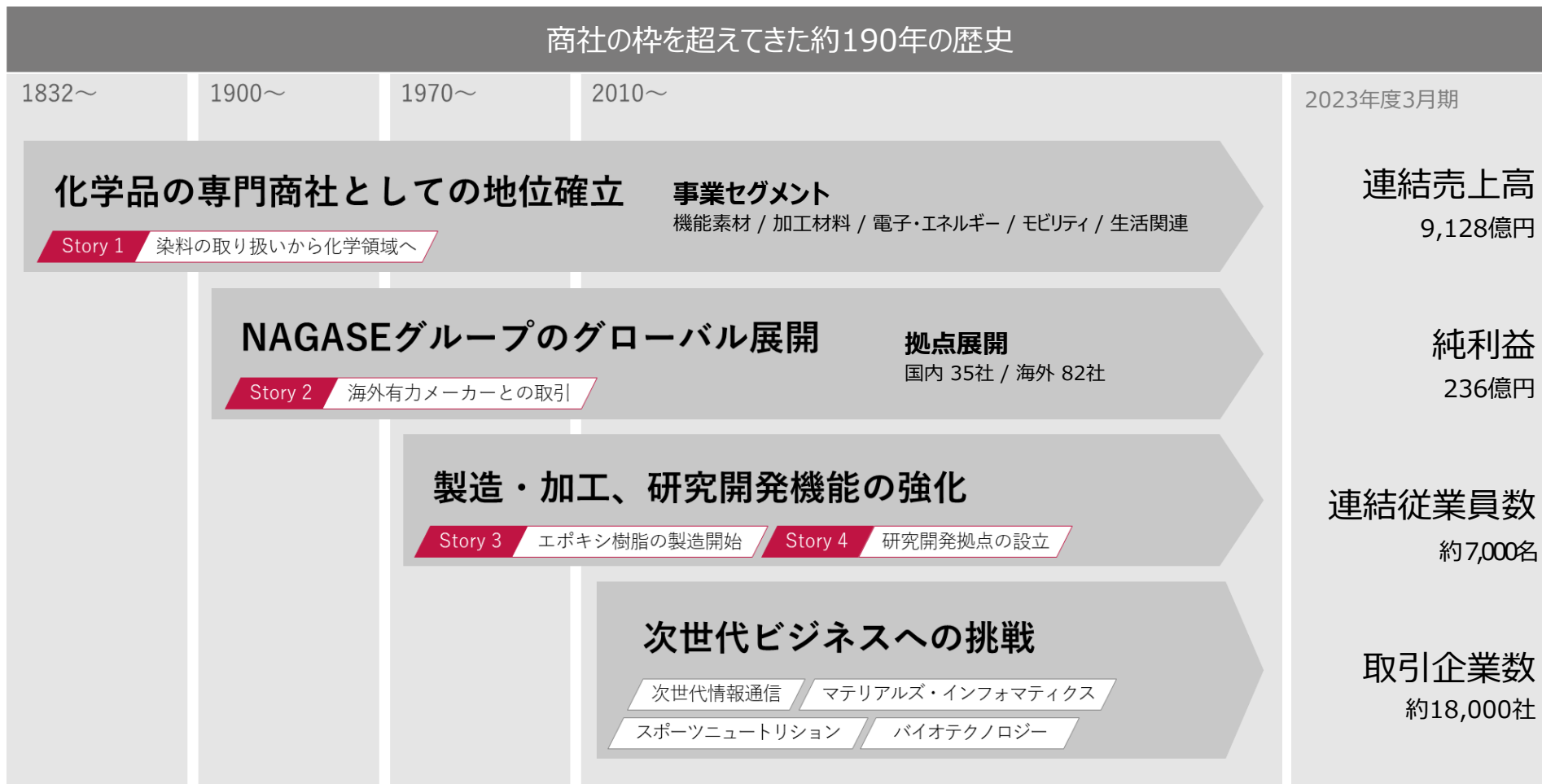


大阪本社

NAGASEグループの変遷

- 長瀬産業は約190年の歴史を持つ化学品の専門商社
- NAGASEグループは、グローバルネットワークを有する商社業に加え、製造、研究の機能を有す

商社の枠を超えてきた約190年の歴史



事業創造の歴史

染料の取扱いから化学領域へ

1832年創業 染料の取扱いから化学領域へ

初代長瀬伝兵衛が京都・西陣で紅花や布海苔、澱粉を扱う問屋「鱗形屋（うろこがたや）」を創業。



初代：長瀬伝兵衛

海外有力メーカーとの取引開始

1900年 バーゼル化学工業社（チバ社）との取引開始以降、イーストマン・コダック社、デュボン社、ゼネラルエレクトリック社等、大手メーカーとのパートナーシップを拡大



チバ社全景
(1893年当時)

国内外に支店、法人を設立しアジアを中心に基盤強化

製造・加工、研究開発機能を強化

1970年 チバ社との合併会社を設立しエポキシ樹脂を製造（現 ナガセケムテックス）

1971年 香港、アメリカに現地法人を設立

1990年 バイオ関連の研究開発拠点センター ナガセR&Dセンターを設立（現 ナガセバイオイノベーションセンター）



ナガセバイオ
イノベーションセンター



ナガセケムテックス



設立当時 米国現地法人
(ニューヨーク5番街)

食品素材ビジネスを本格化

2012年 林原を買収

食品・化粧品素材等を製造するバイオ企業。

約700億円を投じた過去最大のM&A

2019年 Prinovaグループを買収

主に米国で食品素材の販売から製造・加工を行う企業。

約680億円を投じた過去最大の海外企業へのM&A



林原



Prinovaグループ

DXを活用した次世代ビジネスの創出

2017年 NVC (New Value Creation) 室を設置

2020年 米国IBM社と共同開発したAIを活用した
新材料探索プラットフォーム「TABRASA®」をリリース



サステナビリティ推進の本格化

2020年 サステナビリティ推進委員会を設置

社長を委員長とする委員会を設置

2021年 ゼロボード社と協業開始

CO2排出量可視化クラウドサービスを展開

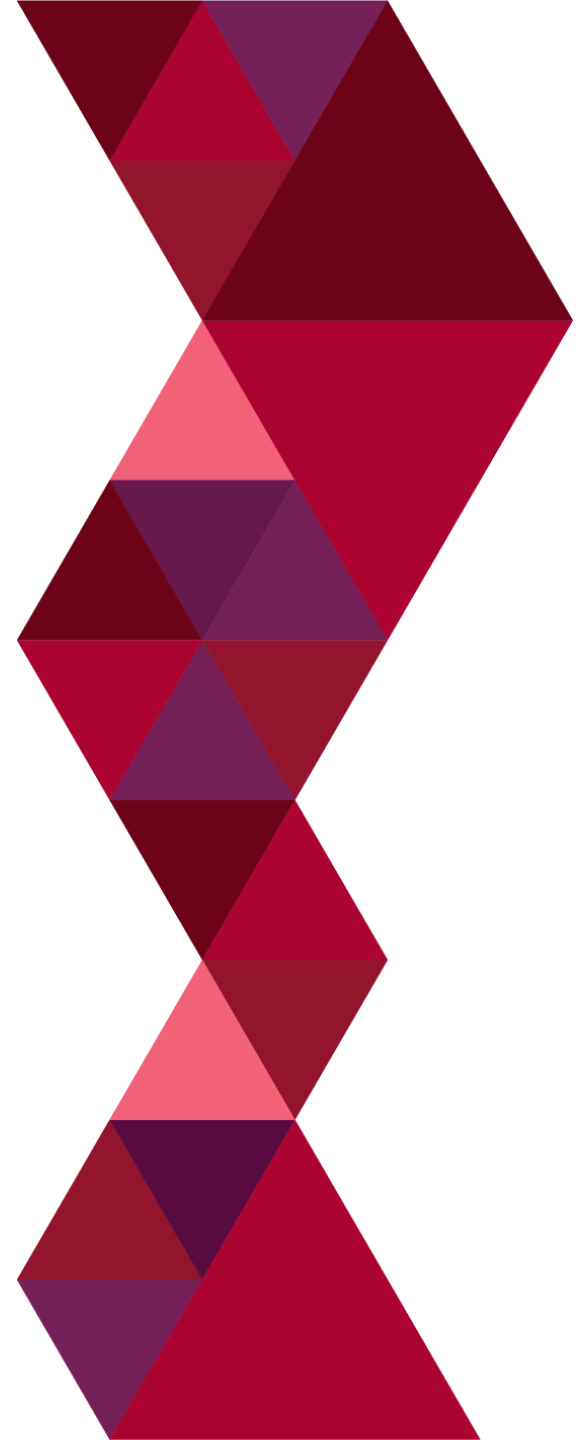
2022年 カーボンニュートラル宣言

2050年までにScope 1・2ベースでのGHG排出量の実質ゼロを目指す



Agenda

1. 自己紹介・会社紹介
2. 森林クレジット活用の概要
3. 工夫した点や苦勞した点
4. 他の自治体・企業様に向けた教訓等



森林クレジット活用の目的

① 自社削減目標未達分のオフセット

- 国内のScope1 (GXLで年次目標を設定)
- 製品、サービス、イベント(株主総会等)
- **高品質 & 長期安定調達可能なソースの確保**

② サステナビリティ(脱炭素・**生物多様性**・**地域創生**)に資する**新規事業構想**

- **高知県梶原[ユスハラ]町との連携事業**
- 再造林事業の支援、地域おこし協力隊員の仕事づくり、生態系価値の可視化支援

森林クレジット活用の目的

当社の削減目標

カーボンニュートラル宣言

Scope 1,2	2030年	2050年
Scope 3	46%減	CN
	12%減	-

GXリーグ参画

2023年度から排出量取引が始動
取引対象はScope 1

イベント・製品

株主総会や社内イベントをオフセット
製品はCFP算定済み

NAGASE 2022年1月25日

各位

会社名 長瀬産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 朝倉 研二
(コード番号 8012 東証第1部)
問合せ先 代表取締役本部長 今村 夏樹
(TEL. 03-3665-3640)

NAGASE グループカーボンニュートラル宣言につきまして

当社は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた方針を策定しましたのでお知らせします。
当社は、2021年5月に発表したマテリアリティ（重要課題）において「社会・環境課題の解決とグローバル化」を掲げています。グローバルに事業を展開するNAGASEグループにとって、気候変動への対応はグループ全体で取り組むべき重要な課題と認識しています。
NAGASEグループは商社機能に加え、製造・加工機能を有することから、「商社業／製造業」と「可視化／削減」の2軸4象限に分類し、以下の目標達成に向けて取り組んでまいります。

■ 目標
2050年までにGHG排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの達成を掲げます（Scope1・2）。また、2030年までに、Scope1・2を46%削減（2013年比）、Scope3を12.3%以上削減（2020年比）します。
なお、Scope3は今後のサプライチェーンとの対話により目標値の更新も検討します。

GX-ETSの第1フェーズの概要

- 1. プレッシュ**
 - 国内直接・間接排出（※）それぞれについて、2030年度及び2025年度の排出削減目標、第1フェーズ（2023年度～2025年度）の排出削減目標の総計を設定
 - 目標水準は各社が自ら設定
- 2. 実績報告**
 - 国内直接・間接排出の排出量実績を算定・報告
 - 排出量の算定結果につき、第三者検証が必要
- 3. 取引実施**
 - 排出量取引の対象は、国内の直接排出分のみ（いわゆる、スコープ1に相当）。自ら設定した直接排出の目標を達成できなかった場合、超過削減枠や適格カーボン・クレジットの調達又は未達理由を説明
 - 他社に売却可能な「超過削減枠」の剰出は、NDC水準（※1）を超過削減した分（※2）

※1 基準年度2013年の場合、基準年度排出量から削減率が2023年度27.0%、2024年度25.7%、2025年度22.4%
※2 制度開始時点で、2023年度のNDC水準を超過削減している場合は、GX-ETSにおける第1フェーズの0.5-1.5PS1以下参照
- 4. レビュー**
 - 目標達成状況及び取引状況は、情報開示プラットフォーム「GXダッシュボード」上で公表
具体的な開示の在り方については、今後参画企業との対話を通じて検討。
 - 排出削減と成長に果敢に取り組み多排出企業に対しては、各種支援策との連動を検討

※ 本資料において間接排出とは、エネルギー起源間接排出、いわゆるスコープ2を指す。

NAGASE Delivering next.

企業情報 ニュース 事業案内 IR (投資関係) サステナビリティ 採用情報

ホーム > サステナビリティ > サステナビリティニュース > 第108回の定時株主総会のカーボン・オフセットを実施

サステナビリティ / サステナビリティニュース

第108回の定時株主総会のカーボン・オフセットを実施

長瀬産業株式会社は、気候変動対策の一環として、株主総会場の電力使用によって排出されるCO2について、先進的な脱炭素及び森林経営を推進する高知県梺原（ゆすはら）町による（精産令和の森づくりプロジェクト）により生み出されたJ-クレジットを利用したカーボン・オフセットにより、実質ゼロとする取組みを実施しました。（開催日時2023年6月20日）今回の株主総会開催の実施によるCO2総排出量約645kg-CO2を超える1,000kg-CO2をオフセットしています。

3/27 フォーミュラEドライバー来社！ シーズン開幕！

(出典)METI, GXL設立準備事務局

※予定

森林クレジット活用の目的

高知県梼原町との連携事業

ロケーション



梼原令和の森林づくり ～森林づくりは 人づくり～



立道課長

森と景観が融合した街並み



顔の見える家作り



地域おこし協力隊



NAGASE | Delivering next.

千枚田オーナー制度 棚田のふるさと神在居



木の活用



※建築家 隈研吾氏の原点

森林クレジット活用の目的

再造林事業の支援

地域おこし協力隊



雲の上の森林組合
ゆすはら町森林組合



再造林

補助

Yusuhara Town Above Cloud

雲の上の町 ゆすはら

オーガナイズ



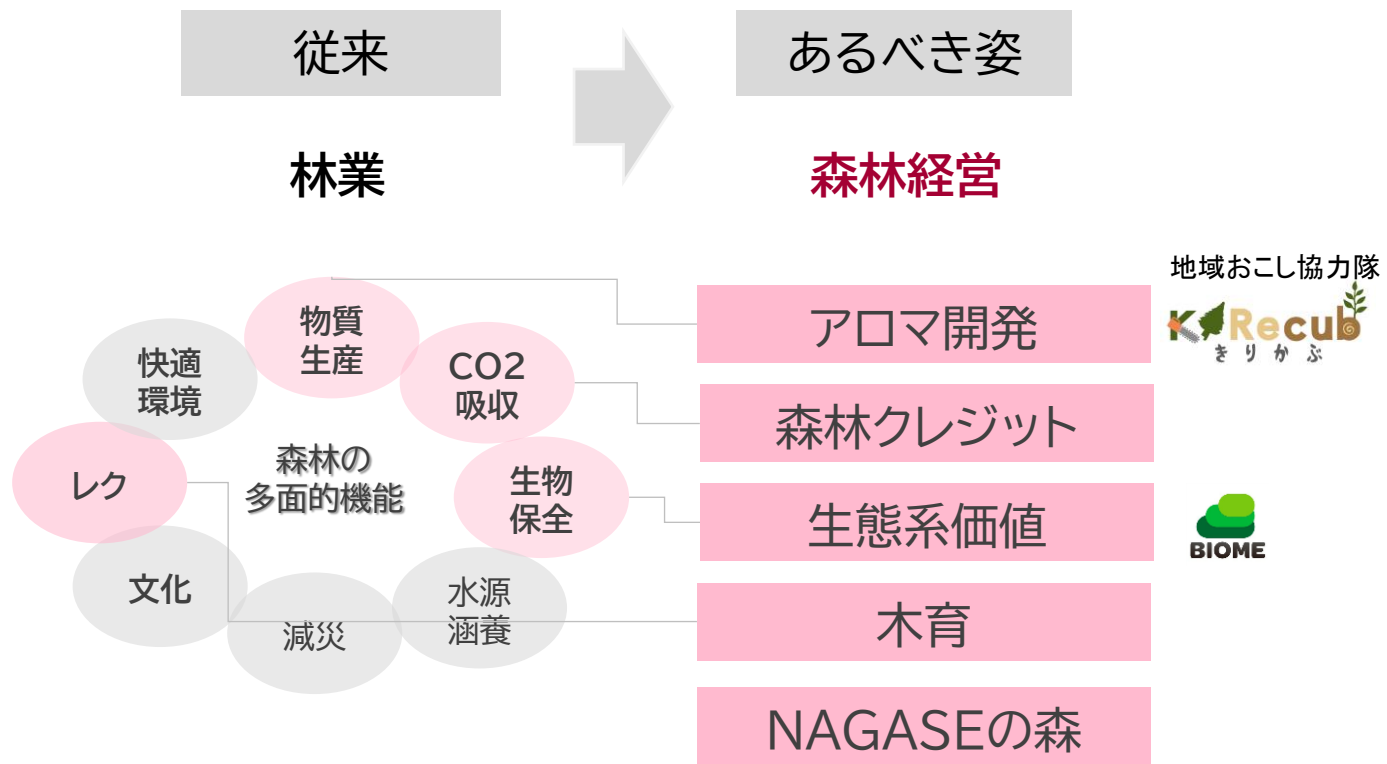
購入

NAGASE

創出手続

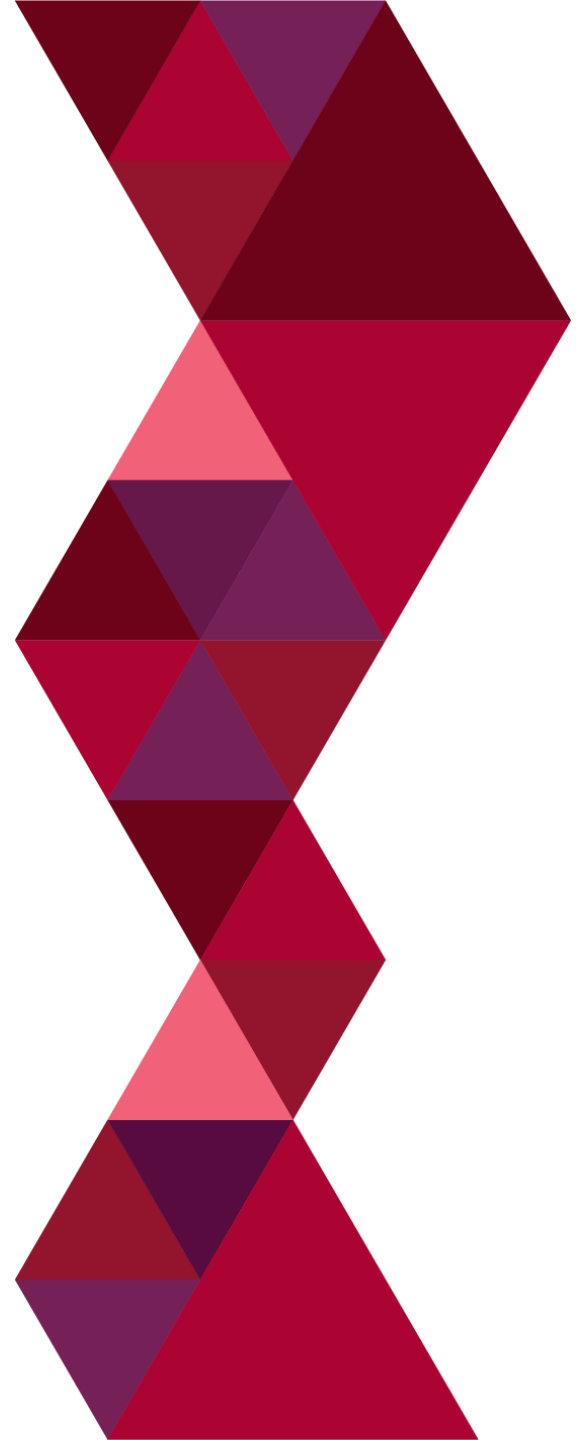
森林クレジット活用の目的

新規事業構想



Agenda

1. 自己紹介・会社紹介
2. 森林クレジット活用の概要
3. 工夫した点や苦勞した点
4. 他の自治体・企業様に向けた教訓等



工夫した点

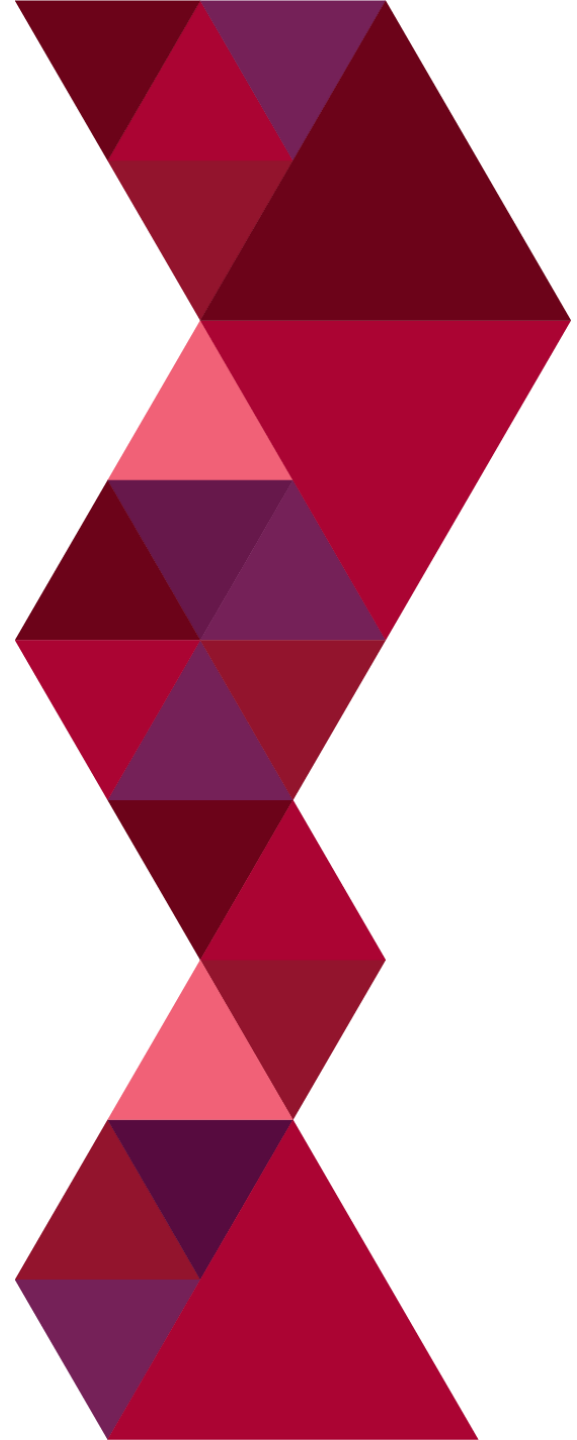
- ① クレジットについて、仲間と一緒にとにかくインプット【知識】
- ② 自治体様へ電話&メール(パッション、一次課題、企業連携)【パートナー】
- ③ 企業版ふるさと納税の活用【財源】 ※クレジットの購入は別
- ④ サステナ室(業務活動)と新規事業創出制度(課外活動)の混成チームを組成【組織】
- ⑤ 社会課題からの“困っている一人”を助けよう【目的】
- ⑥ 企業のミッションと個人の志を大事にしよう【理念】
- ⑦ 専門家・先進企業との積極連携【実効性】

苦勞した点

- ① 社内への説明と合意形成(経営、経理、法務、事業部、グループ会社、海外法人…)
- ② クレジットという証券を取引・在庫することのリスク評価
- ③ 会計処理方法の確認
- ④ 取り扱いガイドラインの整備(目的、責任者、計画策定、調達、在庫、オフセット、開示…)
- ⑤ 手引書の整備

Agenda

1. 自己紹介・会社紹介
2. 森林クレジット活用の概要
3. 工夫した点や苦勞した点
4. 他の自治体・企業様に向けた教訓等



教訓

【自治体様】

- ① 「クレジットはパスポートです」(高知県梶原町役場立道課長)
※目的を財源確保にするか、企業連携によるノウハウ獲得にするか
- ② 森林に興味を示す企業は多いと思います。地縁や連携企業の伝手を辿ったり、ブランディングコンセプトの近い企業へのお問合せをされてみては。

【企業様】

- ① “お役所仕事”は死語かもしれません。
- ② 森林クレジットを通じて頂いたご縁や経験こそ価値があると思います。(売買だけの関係で終わらせないで良かったと思います)

Thank you

～お気軽にお問合せ下さい～

成田 昇

noboru.narita@nagase.co.jp

長瀬産業(株) 経営企画本部 サステナビリティ推進室

 **NAGASE** | Delivering next.